



2019年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年9月13日

上場会社名 株式会社モルフォ 上場取引所 東
 コード番号 3653 URL http://www.morphoinc.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平賀 督基

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 福永 寛康 TEL 03 (3288) 3288

四半期報告書提出予定日 2019年9月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年10月期第3四半期の連結業績 (2018年11月1日～2019年7月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第3四半期	1,922	16.7	473	28.2	442	23.6	274	25.7
2018年10月期第3四半期	1,647	△5.1	369	△42.8	358	△46.5	218	△54.5

(注) 包括利益 2019年10月期第3四半期 245百万円 (13.2%) 2018年10月期第3四半期 217百万円 (△55.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第3四半期	51.02	50.81
2018年10月期第3四半期	40.72	40.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年10月期第3四半期	6,095	5,706	93.5	1,058.49
2018年10月期	5,847	5,456	93.3	1,014.06

(参考) 自己資本 2019年10月期第3四半期 5,700百万円 2018年10月期 5,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期	—	—	0.00	—	0.00
2019年10月期	—	—	0.00	—	—
2019年10月期(予想)	—	—	—	—	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年10月期の連結業績予想 (2018年11月1日～2019年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	15.8	500	△25.2	500	△24.5	312	△32.9	57.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年10月期3Q	5,387,000株	2018年10月期	5,382,800株
② 期末自己株式数	2019年10月期3Q	1,728株	2018年10月期	1,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年10月期3Q	5,382,379株	2018年10月期3Q	5,366,286株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるスマートフォン市場は、中国を筆頭とした巨大市場の成長の頭打ち感が強まる中、米中両国政府を中心とした大規模な追加関税適用の応酬、中国通信機器大手のHuawei社の米商務省の輸出規制リスト入りなど、不透明感の度合いを増しております。5G(第5世代移動体通信システム)関連においては、こうした状況が5Gのインフラ構築や調達価格の高騰などへ影響することを懸念する声も聞かれる中、具体的な導入時期を見据え、関連サービスの商用化を始め様々な産業分野への波及効果への期待も高まりつつあります。人工知能(AI)を活用した関連産業の市場は、生産性向上や製品・サービス品質向上を目指す企業ニーズの高まりを受け、良好な状況が続いております。

このような状況下において、当社は2019年1月30日に2019年10月期から始まる3カ年の中期経営計画「Vision2021」を発表いたしました。引き続き「全てのカメラに知能を持たせる」をビジョンに掲げ、「モルフォ画像技術のデファクトスタンダード化」「成長スピード加速」を中期経営目標に設定し、「経営資源の重点配分」「グローバル化加速」「経営基盤強化」を施策の柱に据えて目標の達成に向けて取り組んでまいります。

「Vision2021」の策定に伴い、従来事業部別に分散していた営業・開発リソースを集約し、経営資源の効率的な活用と重点領域への集中的な経営資源配分を実行するために、従来の「カメラデバイス事業」と「ネットワークサービス事業」の事業部体制を改め、会社組織を変更いたしました。また、海外拠点の組織強化とパートナー企業との連携強化を進め、競合他社よりも短期間で付加価値が高い製品・サービスをグローバルに提供できるグループ体制を構築し、海外市場における更なる売上拡大を狙います。

昨年度設立いたしました中国現地法人におきましては、中国でトップシェアを誇る児童向け学習機器メーカーであるBBK Education Groupの児童向け学習用タブレット端末への当社画像認識技術の搭載を進めるなど、グループ体制強化に向けた取り組みに進展が見られました。また、米国Qualcomm社のモバイル機器向けの新しいチップセットである「Snapdragon 665」のモバイルカメラ機能の強化に関する提携の深化、ねこじゃらし社と共同で開発を進めていた映像処理クラウドサービスの製品化や、日本国内にて総合的な映像サービスを提供しているヌーベルグループとの業務提携など、戦略領域内における営業活動や製品開発の強化を目的としたパートナー企業との連携にも引き続き注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,922,790千円(前年同四半期比16.7%増)、営業利益は473,400千円(前年同四半期比28.2%増)、経常利益は442,687千円(前年同四半期比23.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は274,603千円(前年同四半期比25.7%増)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントは単一セグメントとなることから、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,235,823千円となり前連結会計年度末に比べ251,119千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が337,216千円増加したこと、売掛金が87,829千円減少したこと、および貸倒引当金が12,244千円積み増ししたことによるものであります。

固定資産は859,463千円となり、前連結会計年度末に比べ3,334千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が28,477千円、繰延税金資産が33,196千円増加し、無形固定資産が65,414千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、6,095,287千円となり、前連結会計年度末に比べ247,785千円増加いたしました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は359,234千円となり前連結会計年度末に比べ3,487千円減少いたしました。これは主に前受金が83,958千円増加し、未払法人税等が49,424千円、賞与引当金が13,409千円、未払金が9,889千円、1年内返済予定の長期借入金が8,980千円減少したことによるものであります。

固定負債は30,049千円となり、前連結会計年度末に比べ2,043千円増加いたしました。これは主にリース債務が1,770千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、389,284千円となり、前連結会計年度末に比べ1,444千円減少いたしました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,706,002千円となり前連結会計年度末に比べ249,229千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が274,603千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年12月14日に「平成30年10月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,324,545	4,661,762
売掛金	607,691	519,862
仕掛品	1,597	12,560
前払費用	41,004	41,165
その他	12,351	15,205
貸倒引当金	△2,487	△14,732
流動資産合計	4,984,704	5,235,823
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	43,810	40,463
工具、器具及び備品(純額)	70,217	98,864
リース資産(純額)	—	3,177
有形固定資産合計	114,028	142,506
無形固定資産		
ソフトウェア	41,697	51,398
のれん	363,182	287,204
その他	4,532	5,395
無形固定資産合計	409,412	343,998
投資その他の資産		
投資有価証券	22,469	22,469
敷金及び保証金	97,753	98,410
繰延税金資産	198,692	231,889
その他	70,001	69,749
貸倒引当金	△49,560	△49,560
投資その他の資産合計	339,355	372,958
固定資産合計	862,797	859,463
資産合計	5,847,501	6,095,287

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,805	28,145
1年内返済予定の長期借入金	8,980	—
未払金	79,519	69,629
未払法人税等	104,035	54,611
未払費用	15,167	20,048
前受金	92,745	176,704
賞与引当金	13,409	—
その他	22,058	10,095
流動負債合計	362,722	359,234
固定負債		
リース債務	—	1,770
資産除去債務	28,006	28,278
固定負債合計	28,006	30,049
負債合計	390,728	389,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,771,213	1,772,928
資本剰余金	1,719,883	1,721,598
利益剰余金	1,952,960	2,227,564
自己株式	△10,711	△10,781
株主資本合計	5,433,345	5,711,310
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	21,275	△11,054
その他の包括利益累計額合計	21,275	△11,054
非支配株主持分	2,152	5,746
純資産合計	5,456,772	5,706,002
負債純資産合計	5,847,501	6,095,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)
売上高	1,647,336	1,922,790
売上原価	324,426	382,403
売上総利益	1,322,909	1,540,386
販売費及び一般管理費	953,518	1,066,986
営業利益	369,391	473,400
営業外収益		
受取利息	77	122
受取報奨金	—	1,886
その他	64	716
営業外収益合計	141	2,725
営業外費用		
支払利息	152	503
為替差損	11,275	32,932
その他	0	1
営業外費用合計	11,427	33,437
経常利益	358,105	442,687
税金等調整前四半期純利益	358,105	442,687
法人税、住民税及び事業税	155,803	197,387
法人税等調整額	△16,196	△33,196
法人税等合計	139,607	164,191
四半期純利益	218,497	278,496
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	3,893
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,497	274,603

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)
四半期純利益	218,497	278,496
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,207	△32,627
その他の包括利益合計	△1,207	△32,627
四半期包括利益	217,289	245,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	217,289	242,274
非支配株主に係る四半期包括利益	—	3,594

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)

「II 当第3四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、「カメラデバイス事業」、「ネットワークサービス事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より単一セグメントに変更しております。

当社グループでは、従来、本社に事業を展開する分野別・顧客別の事業部を設置し、各事業部は包括的な戦略を立案し事業活動を展開しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、各事業部別に分散していた営業・開発機能を集約することによって、全社の生産性を上げ、迅速かつ付加価値の高いサービスを提供することを目的に、会社組織を変更しております。

また、当社グループにおきましては、当連結会計年度より3カ年に亘る新たな中期経営計画「Vision2021」を策定し、成長戦略を改めており、重点事業領域においてオンリーワン・ナンバーワンのサプライヤーとして成長を遂げ、中期目標として掲げる「モルフォ画像技術のデファクトスタンダード化」を達成すべくグローバル化を加速しております。

これら会社組織の変更、新たな中期経営計画の策定、経営管理体制の実態等を踏まえ、報告セグメントについて再考した結果、当社グループの事業を一体として捉えることが適切であると判断したものであります。

この変更により、当社グループの報告セグメントは単一セグメントとなることから、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。